

JP

HP Designjet T11XX (HD) MFP/45XXmfp/

45XXスキャナ

クイックリファレンスガイド



法律および保証に関する情報は CD に収められています。詳細については、HP のサポート Web サイト ([http://www.hp.com/go/knowledge\\_center/](http://www.hp.com/go/knowledge_center/)) をご覧ください。

### **法律に関する注記**

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

# 目次

## 1 はじめに

このガイドの使用方法 .....	1
はじめに .....	1
基本操作 .....	1
保守 .....	1
トラブルの解決 .....	1
索引 .....	1
警告および注意 .....	1
スキャナ ソフトウェア .....	1

## 2 基本操作

新しいプリンタの追加 .....	6
プリンタの削除 .....	7
新しいメディア プロファイルの作成 .....	7
出力品質の設定 .....	11
スキャンと印刷のコピー品質の設定 .....	11
ファイルから印刷する場合の印刷品質設定 .....	13
スキャン品質の設定 .....	15
原稿のコピー .....	16
複数の部数の印刷 .....	20
バッチ コピーの実行 .....	21
原稿をスキャンしてファイルに保存 .....	23
原稿をスキャンしてネットワークに保存 .....	25
ネットワーク接続の追加 .....	25
スキャンしてネットワークに保存 .....	27
ネットワーク フォルダのファイルへのアクセス .....	27
バッチ スキャンの実行 .....	28
自動命名機能の使用 .....	28
原稿のスキャン .....	28
ファイルの印刷 .....	29
色の調整 .....	30
ファイルの表示、移動、名前変更、削除 .....	31
厚手コート紙または厚紙のスキャン .....	31
コピーのプレビュー .....	34
全て拡大 .....	34
拡大 .....	34
縮小 .....	34
等倍表示 .....	34
用紙フレームのサイズ変更 .....	34
移動ツール .....	35
用紙フレームの配置 .....	35
左揃えと右揃え .....	35
CDまたはDVDへのファイルの保存 .....	37

マイ コンピュータから共有フォルダへのアクセス .....	37
Windows XPから共有フォルダにアクセスする .....	38
Windows 2000から共有フォルダにアクセスする .....	39
Windows 98から共有フォルダにアクセスする .....	39
Mac OS Xから共有フォルダにアクセスする .....	39
パスワードのセットアップ .....	40
共有ディレクトリへのパスワードによるアクセスの有効化 .....	41
ネットワークへのスキャナの接続 .....	42
アカウント管理 .....	44
アカウントの作成 .....	45
アカウントの削除 .....	46
アカウントのリセット .....	47
アカウントの名前変更 .....	48
時刻、日付、タイムゾーンの設定 .....	49
スリープおよびウェイクアップタイマーの設定 .....	50

### 3 保守

ガラス プレートとスキャン領域のクリーニング .....	51
スキャナのキャリブレーション .....	51
画面のキャリブレーション .....	53
消耗した部品の交換 .....	53
ランプユニット .....	53
エア フィルタ .....	54
白いプラテン .....	54
ガラス プレート .....	54

### 4 トラブルの解決

診断ランプが点滅している .....	57
待機ランプが点滅している .....	58
待機ランプと診断ランプの両方が点滅している .....	58
電源ランプ、待機ランプ、診断ランプ、用紙セット完了ランプが点滅している .....	59
スキャンしたイメージの線が細すぎるか不連続になる .....	59
パネルPCのタッチ スクリーンに警告メッセージが表示される .....	60
スキャナ ソフトウェアの言語が間違っている .....	61
スキャナ ソフトウェアが起動しない .....	61
CDまたはDVDがコンピュータで読み取れない .....	62
メディア プロファイルを生成できない .....	62
スキャンされたイメージに筋が入る .....	62
電源を入れ直した後にスキャナが検出されない .....	62

索引 .....	63
----------	----

# 1 はじめに

- このガイドの使用方法
- スキャナ ソフトウェア

## このガイドの使用方法

このクイック リファレンス ガイドは、以下の章で構成されています。

### はじめに

この章では、本スキャナを初めて使用するユーザのために、本スキャナおよびマニュアルについて簡単に説明します。

### 基本操作

この章では、さまざまな操作の手順について説明します。

### 保守

この章では、さまざまなキャリブレーションおよび保守の手順について説明します。

### トラブルの解決

この章では、スキャン中に発生する問題の解決方法について説明します。

### 索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

### 警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

- △ **警告!** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
- △ **注意:** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

## スキャナ ソフトウェア

スキャナ ソフトウェアはスキャナのタッチ スクリーンにインストールされ、タッチ スクリーンの電源を入れたときに自動的に実行されます。最初に表示される画面は次の3つの主要セクションに分かれています。

- スキャンしたイメージを表示する表示セクション (左側)
- 制御セクション (右側)
- ツールバー (下側)



 **注記：** この画面の内容は、スキヤナに接続されてるプリンタによって異なる場合があります。

画面には以下が含まれます。

- プレビュー ウィンドウ。表示セクションの大部分がプレビュー ウィンドウになります。その上部に、9つのボタンのあるイメージ ツールバーがあります。これらのボタンは、プレビューを変更する際に使用します(34 ページの「コピーのプレビュー」を参照)。
- 制御セクション。制御セクションには、**[コピー]**、**[スキヤン]**、**[印刷]**、および **[セットアップ]** の4つのタブがあります。各タブには、コピー、スキヤン、印刷、およびセットアップの各タスクを実行するときに選択できるオプションがあります。
- 画面下部に、大きめの機能ボタンが9つあります。

-  **[終了]**：タッチ スクリーンをシャット ダウンします。
-  **[オンライン ヘルプ]**：本書に記載されていない多数のトピックに関する追加情報が得られます。
-  **[フォルダ]**：**[ファイル管理]** ダイアログ ボックスを開きます。
-  **[印刷キュー]**：印刷キューを表示します。
-  **[部単位]**：複数のコピーをセットとしてグループ化します。

-  **[プレビュー]**：原稿をスキャンしてイメージをプレビューし、必要な範囲を選択できます。
-  **[リセット]**：各設定をデフォルト値にリセットします。
-  **[停止]**：現在の動作をキャンセルします。
-  **[コピー]**、 **[スキャン]**、または  **[印刷]**：各アイコンはそれぞれのタブに表示され、作業しているタブにより、コピー、スキャン、または印刷の機能を起動します。



## 2 基本操作

- 新しいプリンタの追加
- プリンタの削除
- 新しいメディア プロファイルの作成
- 出力品質の設定
- 原稿のコピー
- 複数の部数の印刷
- バッチ コピーの実行
- 原稿をスキャンしてファイルに保存
- 原稿をスキャンしてネットワークに保存
- バッチ スキャンの実行
- ファイルの印刷
- 色の調整
- ファイルの表示、移動、名前変更、削除
- 厚手コート紙または厚紙のスキャン
- コピーのプレビュー
- CDまたはDVDへのファイルの保存
- マイ コンピュータから共有フォルダへのアクセス
- パスワードのセットアップ
- 共有ディレクトリへのパスワードによるアクセスの有効化
- ネットワークへのスキャナの接続
- アカウント管理
- 時刻、日付、タイムゾーンの設定
- スリープおよびウェイクアップ タイマーの設定

## 新しいプリンタの追加

新しいHP Designjetプリンタをスキャナ ソフトウェアのプリンター一覧に追加する場合は、以下の手順に従います。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。**[オプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。



3. **[システム]** ボタンを押します。**[システム オプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。



4. **[プリンタ ドライバのインストール]** ボタンを押します。
5. インストールするプリンタを選択します。

 **注記：** 同じモデル番号のプリンタがシステムに複数台インストールされている場合、2番目に追加されたプリンタの名前の末尾には#2、3番目に追加されたものには#3など、番号が表示されます。

## プリンタの削除

スキャナ ソフトウェアのプリンタ リストからHP Designjetプリンタを削除するには、以下の手順に従います。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



- 2.

**[プリンタ]** ボタンを押し、**[ツール]** ボタン  を押します。**[プリンタのセットアップ]** ダイアログ ボックスが表示されます。



3. **[削除]** ボタンを押します。

## 新しいメディア プロファイルの作成

以下の手順を実行する前に、スキャナのカラー キャリブレーションを実行 (51 ページの「スキャナのキャリブレーション」を参照) したことおよび作成す

るメディア プロファイルがリストに表示されていないことを確認してください。

**注記：** HP Designjet 45XX、40XX、またはT11XXを使用する場合は、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類用のメディア プロファイルだけを作成できます。このような標準的な用紙の種類はシステムによって検出され、用紙の名前がメディア プロファイルのリストに表示されます。その中からいずれかを選択し、以下の手順でメディア プロファイルを作成できます。これらのプリンタでは、メディア プロファイルの名前を変更できません。

HP Designjet 500、800、5X00または1000では、メディア プロファイルに任意の名前を付けることができます。必要な用紙の名前を入力するように要求するメッセージが表示されます。

**注記：** コピーおよび印刷する前にメディア プロファイルを作成する必要があります。また、コピーおよび印刷する前に少なくとも1台のプリンタがスキャナに接続されている必要があります。プリンタは、パネルPCを介してスキャナに直接接続することも、ローカル エリア ネットワーク (LAN) を介して接続することもできます。

**注記：** 新しいメディア プロファイルを作成するには、プリンタにメディアを取り付ける必要があります。

#### 1. [セットアップ] タブを押します。



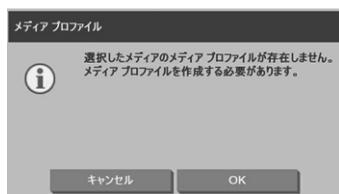
2.

[メディア プロファイル] ボタンを押し、[ツール] ボタン  を押し  
ます。または、[プリンタ]->[ツール] ボタン->[メディア プロファイル] を選  
択します。



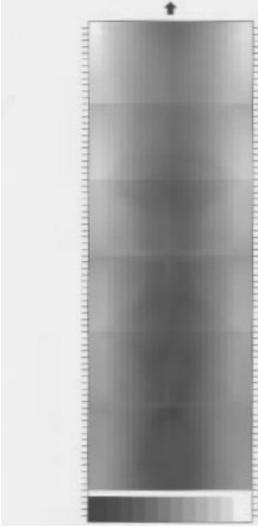
 **注記：** 一部のプリンタでは、**[RIPのキャリプレート]** 機能をダイアログ  
ボックスの最初の段階で使用できます。RIPのキャリブレーションでは、印  
刷した色が自然なグレーに見えるように、赤、緑、青のガンマ値を設定す  
る必要があります(グレー バランスとも呼びます)。この機能を使用するに  
は、**[RIPのキャリプレート]** ボタンを押し、画面の指示に従います。

3. プリンタに取り付けたメディアに対応するボタンを押します。
4. このメッセージが表示されたら、**[OK]** ボタンを押します。



5. **[カラー シートの印刷]** ボタンを押して、カラー パッチ リファレンス シートを印刷します。

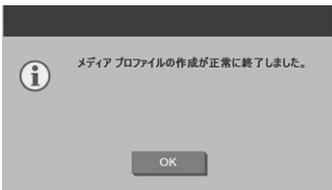
一部のプリンタでは、カラー シートを印刷する前に特殊なテスト シートが印刷されます。テスト シートは使用せず、カラー シートのみを使用してください(下の図を参照)。



6. **[スキャン シート]** ボタンを押して、カラー シートをスキャンします。

 **注記：** LAN経由でシステムを接続している場合、HP Designjetのモデルによってはメディア プロファイルの入力を求められます。

7. 印刷面を下向きにして、カラー シートを差し込みます。カラー シートの矢印をスキャナ中央の矢印と合わせます。
8. **[OK]** ボタンを押して、スキャンを開始します。
9. このメッセージが表示されたら、**[OK]** ボタンを押します。



メディア プロファイルがアクティブになり、使用可能なメディア プロファイルがリストに表示されます。

**[削除]** ボタンを使用して、メディア プロファイルを削除することができます。削除できるのはユーザが作成したプロファイルだけです。

**[名前の変更]** ボタンを使用できる場合は、このボタンを使用してメディア プロファイルの名前を変更できます。

 **注記：** HP Designjet 45XX、40XX、またはT11XXを使用している場合、このダイアログ ボックスの **[名前の変更]** ボタンは使用できません。**[検証]** ボタンを使用して、使用しているスキャナとプリンタの組み合わせでメディア プロファイルが有効であるかどうかを確認してください。

## 出力品質の設定

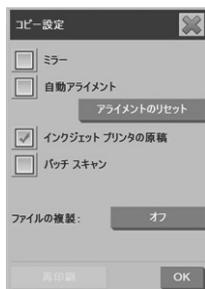
このセクションでは、スキャナおよびプリンタの出力品質を設定する方法を説明します。

### スキャンと印刷のコピー品質の設定

1. **[コピー]** タブを押します。



2. **[設定]** ボタンを押します。**[コピー設定]** ダイアログ ボックスが表示されます。



3. スキャン対象の原稿がインクジェットプリンタで印刷されている場合は、**[インクジェットプリンタの原稿]** を選択するとコピーまたは印刷の品質を向上させることができます。
4. **[OK]** ボタンを押します。
5. **[品質]** ボタンを押します。
6. **[品質]** ダイアログ ボックスでスキャン品質および印刷品質の設定を指定します。



- スキャン品質：以下のいずれかのスキャン品質設定を選択します。
  - **[スキャン解像度]**：スキャン解像度を1インチあたりのドット数 (dpi) で手動で設定します。
  - **[自動]**：選択した印刷品質 (**[高速]**、**[標準]**、または **[高品質]**) に基づいて、最適なスキャン品質をシステムが決定します。解像度設定 (dpi単位) は、**[自動]** チェック ボックスの横に表示されます (上の例では200dpi)。

- **[デスクリーン]** : スキャナは、光学的解像度でスキャンを行い、データをシステムに転送します。その後で、ソフトウェアが最適な解像度の値を設定します。
- ☞ **注記** : **[デスクリーン]** 設定では、ラスタ イメージ (.jpeg、.tiff、および .pdfファイルなどの非ベクトル イメージ) のスキャンでは最高の結果が得られますが、スキャン速度は低下します。
- **[ターボ]** : **[ターボ]** 設定では、給紙速度が高まり、取り込まれるスキャン データの量が減少します。これにより、スキャン速度は上昇しますが、イメージ品質は低下します。**[ターボ]** 設定を使用するには、まず手動でスキャン解像度を設定し、次に **[ターボ]** を選択します。
- ☞ **注記** : 解像度が300dpi未満に設定されている場合、ターボ設定の効果はありません。
- 印刷品質 : **[高速]**、**[標準]**、**[高品質]** から選択します。
- ☞ **注記** : スキャン品質を **[自動]** に設定すると、選択した印刷品質設定によってスキャン解像度が決まります (前述の説明を参照)。

7. **[OK]** ボタンを押します。

## ファイルから印刷する場合の印刷品質設定

1. **[印刷]** タブを押します。



2. **[設定]** ボタンを押します。**[印刷設定]** ダイアログ ボックスが表示されます。



3. 以下の印刷設定から選択します。
- **[印刷品質]** : **[印刷品質]** ボタンを押して、**[高速]**、**[標準]**、**[高品質]** から品質設定を選択します。
  - **[インクジェット プリンタの原稿]** : スキャン対象の原稿がインクジェットプリンタで印刷されている場合は、この設定を使用すると、コピーまたは印刷の品質が向上します。
  - **[黒インクのみ]** : この設定を使用すると、グレートーンのイメージファイルから、正確およびニュートラルなグレートーン出力を作成できます。  
 **注記** : この設定を使用すると、カラー インクを使用して作成したグレートーン出力よりも粒子が粗くなります。
  - **[描画の最適化]** : この設定は、テキストと描画にお勧めします。  
 **注記** : 写真を含む文書にこの設定を使用すると、イメージの品質が低下します。
  - **[高精細]** : この設定は、地図や特定のCAD図面のように、詳細なグラフィックスを鮮明に出力する場合に使用します。  
 **注記** : 写真を含む文書にこの設定を使用すると、イメージの品質が低下します。
4. **[OK]** ボタンを押します。

 **注記** : 利用できるオプションは、プリンタ モデルにより異なります。

## スキャン品質の設定

1. **[スキャン]** タブを押します。



2. **[スキャン解像度]** ボタンを押します。**[品質]** ダイアログ ボックスが表示されます。



3. 以下の品質設定から選択します。

- **[スキャン解像度]** : スキャン解像度を1インチあたりのドット数 (dpi) で手動で設定します。
- **[自動]** : 選択した印刷品質 (**[高速]**、**[標準]**、または **[高品質]**) に基づいて、最適なスキャン品質をシステムが決定します。解像度設定 (dpi単位) は、**[自動]** チェック ボックスの横に表示されません (上の例では 200dpi)。

 **注記** : ユーザーが選択した印刷品質に基づいてシステムがスキャン解像度を決定しますが、スキャンしてネットワークに送信する処理では、印刷品質設定が実際に使用されることはありません。

- **[デスクリーン]**：スキャナは、光学的解像度でスキャンを行い、データをシステムに転送します。その後で、ソフトウェアが最適な解像度の値を設定します。

 **注記**： **[デスクリーン]** 設定では、ラスタ イメージ (.jpeg、.tiff、および .pdfファイルなどの非ベクトル イメージ) のスキャンでは最高の結果が得られますが、スキャン速度は低下します。

- **[ターボ]**：**[ターボ]** 設定では、給紙速度が高まり、取り込まれるスキャン データの量が減少します。これにより、スキャン速度は上昇しますが、イメージ品質は低下します。**[ターボ]** 設定を使用するには、まず手動でスキャン解像度を設定し、次に **[ターボ]** を選択します。

 **注記**： 解像度が300dpi未満に設定されている場合、ターボ設定の効果はありません。

4. **[OK]** ボタンを押します。

## 原稿のコピー

1. 使用する用紙の種類のメディア プロファイルがまだない場合は、メディア プロファイルを作成する必要があります。詳細は、7 ページの「[新しいメディア プロファイルの作成](#)」を参照してください。
2. 原稿を挿入します。
  - a. 印刷面を下向きにして、上端がスキャナの挿入スロットに向くように原稿を置きます。原稿の中央を挿入スロットの中央に合わせます。
  - b. 原稿を挿入スロットに入れ、開始位置に引き込まれるまでそっと差し込みます。
3. カラーまたは白黒コピーを選択します。  
どちらを選択するかによって、次の手順で使用できる原稿のタイプのテンプレートが決まります。

4. 原稿のタイプのテンプレートを選択します。

a. **【コピー】** タブを押します。



b. **【原稿のタイプ】** ボタンを押します。**【原稿のタイプ】** ダイアログ ボックスが表示されます。



c. 現在の原稿に最も近いタイプのテンプレートを選択します。

d. これらのオプション設定のいずれかを変更したり、新しいオプション

を作成する場合は、**【ツール】** ボタン  を押します。新しい設定を保存するには、**【新規】** ボタンを押し、名前を入力します。

 **注記：** 原稿のテンプレートの設定を変更すると、**【原稿のタイプ】** ダイアログ ボックスでテンプレート名の横に「\*」記号が表示され、変更が加えられたことが示されます。たとえば、CADのテンプレートに変更を加えた場合、ダイアログ ボックスに「CAD\*」と表示されます。

5. 入力サイズを選択します。
- a. **[コピー]** タブを押します。



- b. **[入力サイズ]** のボタンを押します。**[入力サイズ]** ダイアログ ボックスが表示されます。



- c. 原稿に合うサイズを選択します。原稿の幅と長さを自動的にスキャナで検出するには、**[自動]** を選択します。
- d. これらのオプション設定のいずれかを変更する場合、またはカスタム

用紙サイズを作成する場合は、**[ツール]** ボタン  を押します。変更内容またはカスタム用紙サイズを保存するには、**[新規]** ボタンを押して、名前を入力します。

6. 出カサイズを選択します。  
a. **【コピー】** タブを押します。



- b. **【出力サイズ】** ボタンを押します。**【出力サイズ】** ダイアログ ボックスが表示されます。



- c. 出カコピーのサイズを選択します。  
d. これらのオプション設定のいずれかを変更する場合、またはカスタム

用紙サイズを作成する場合は、**【ツール】** ボタン  を押します。変更内容またはカスタム用紙サイズを保存するには、**【新規】** ボタンを押して、名前を入力します。

入力サイズと異なる出力サイズを選択すると、拡大/縮小パーセントが自動的に計算され、最初のプレビュー後に **【コピー】** タブの **【倍率】** ボタンに表示されます。または、**【倍率】** ボタンを押して定義済みの倍率を選択するか、

**【ツール】** ボタン  を押して倍率を入力することもできます。

7. 部数を設定します。
- セットした原稿を複数コピーする場合は、**[部数]** ボタンを押します。
  - [編集]** フィールドに部数を入力します。

このオプションを使用することによって、稼働中のシステムのそばにいる必要がなくなります。

8. 指定した設定でコピーを開始するには、**[コピー]** ボタン  を押します。

現在のプレビューまたはコピー処理をキャンセルするには、**[停止]** ボタン



を使用します。

指定した設定をクリアし、プログラムをデフォルト値にリセットするには、**[リ**

**セット]** ボタン  を押します。

## 複数の部数の印刷

部単位機能により、複数のコピーをセットとしてグループ化し、それらのセットを指定した数だけプリンタで印刷できます。1つの原稿のコピーで使用可能なプ

レビューおよび拡張機能の全オプションは、部単位コピー機能を使用しているときも使用できます。

1. **【コピー】** タブを押します。



2. 原稿をスキャナに挿入し、メイン タッチ スクリーンの **【部単位】** ボタン



を押します。

 **注記：** 原稿は1枚のコピーの場合と同様にキャプチャされますが、プリンタに出力されるのではなく、システムに一時的に保存されます。

3. 別の原稿を挿入し、**【部単位】** ボタンを押します。同様に作業して、セットにする原稿をすべてスキャンします。セット内の各コピーは、1つの原稿をコピーする場合と同様に調節できます。
4. **【コピー】** タブの **【部数】** ボタンを押して、セット数を指定します。部数は、コピーするセット数を示します。各セットには、部単位の原稿がすべて含まれています。
5. **【部単位で印刷】** ボタンを押して、コピー ジョブを実行します。

## バッチ コピーの実行

バッチ コピーでは、設定を調整せず、原稿ごとに **【コピー】** ボタンを押さずに、1度のセッションで複数の原稿を処理します。バッチ コピーは、同じ設定で数グループの原稿をコピーするときに便利です。

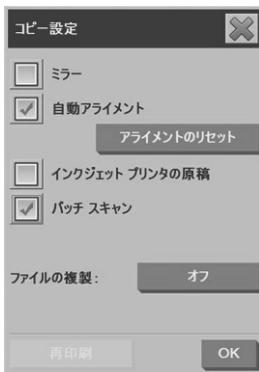
1. 同じ設定でコピーする原稿を準備します。
2. 最初の原稿をスキャナに挿入します。
3. 1枚の原稿をコピーする場合と同様に **【コピー】** タブで設定を指定します。詳細は、16 ページの「原稿のコピー」を参照してください。

 **注記：** 寸法の異なる原稿がある場合は、**[自動]** サイズ検出設定を使用し、**[幅を自動的に検出]** と **[長さを自動的に検出]** を選択します。

4. **[コピー]** タブを押します。



5. **[設定]** ボタンを押し、**[バッチ スキャン]** を選択して、**[OK]** ボタンを押します。



6. **[コピー]** ボタン  を押し、原稿の挿入を開始します。



**ヒント：** バッチコピーモードを中断するには、**[停止]** ボタン  を押します。このボタンを押すと、一時的にバッチコピーモードが停止し、別の設定で1つの原稿をコピーできます。1つの原稿をコピーした後に、バッチコピーモードが再開されます。

ヒント： 各原稿のスキヤンが完了したら排紙して、次の原稿を挿入できるように、スキヤナを設定できます。このオプションを選択するには、**[セットアップ]** タブに移動し、**[オプション]** -> **[スキヤン設定]** -> **[排紙]** を選択します。

スキヤナのバッチコピーモードは、**[コピー]** タブの **[設定]** ボタンを使用して **[バッチスキヤンオプション]** の選択を解除するまで維持されます。

## 原稿をスキヤンしてファイルに保存

1. 印刷面を下向きにして、原稿の上端がスキヤナの挿入スロットに向くように原稿を置きます。原稿をスキヤナに挿入します。中央の矢印を使用して正しい位置を決めます。
2. **[スキヤン]** タブを選択し、以下の手順に従ってスキヤン設定を指定します。



マージン、レイアウト、メディアプロファイルなど出力設定は、ファイルから印刷するときに変更できます。

3. **[カラー]** または **[白黒]** スキヤンを選択します。
4. 原稿に該当する原稿のタイプのテンプレートを選択します。

5. スキャン解像度を設定します。スキャン解像度により、イメージ品質が決まります。カスタムのdpi値を設定することも、次の設定から選択することもできます。
  - **自動**：選択した印刷品質 (**[高速]**、**[標準]**、または **[高品質]**) に基づいて、最適なスキャン品質をシステムが決定します。
  - **デスクリーン**：スキャナは、光学的解像度でスキャンを行い、データは補間されずにシステムに転送されます。
  - **ターボ**：この設定では、給紙速度が高まり、取り込まれるスキャンデータの量が減少します。これにより、スキャン速度は上昇しますが、イメージ品質は低下します。
6. **[サイズ]** と **[サイズ変更]** オプションを使用して、スキャンするイメージの寸法を指定します。**[サイズ]** に **[自動]**、**[サイズ変更]** に **[なし]** を設定すると、原稿のサイズがそのまま使用されます。
7. デフォルトのファイル名は、現在の日時になっています。デフォルトの名前を変更するには、**[ファイル名]** ボタンを押して新しい名前を入力します。

 **注記**： 自動命名機能 (バッチ スキャンの際に便利) については、[28 ページの「自動命名機能の使用」](#)を参照してください。

8. **[設定]** -> **[ファイル フォーマット]** を押して、出力ファイル形式を選択します。さまざまなファイル形式を使用できます。
9. **[ファイル フォルダ]** ボタンを押して、スキャンしたファイルの保存先フォルダを選択します。**[フォルダの変更]** ダイアログ ボックスが表示されます。



10. **[フォルダの変更]** ダイアログ ボックスでは次のことができます。
  - 矢印を押してフォルダを見つける。
  - 上のフォルダに移動するための **[.]** ボタンを押して1つ上の階層のフォルダに移動する。

- **[新しいフォルダ]** ボタンを押して、現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成する。
  - フォルダ名を押して、検索対象をそのフォルダに移動する。
11. ファイルの保存先フォルダを選択したら、**[フォルダの変更]** ダイアログボックスで **[OK]** ボタンを押します。ネットワークで共有するファイルは、D:\images フォルダに保存する必要があります。このフォルダにファイルを保存すると、オペレーティング システムに関係なく、任意のコンピュータからそのファイルにネットワーク経由でアクセスできます。
  12. **[スキャンしてファイルに保存]** ボタン  を押して処理を開始し、イメージを保存します。
  13. 生成されたファイルを表示または削除する方法については、31 ページの「ファイルの表示、移動、名前変更、削除」を参照してください。

## 原稿をスキャンしてネットワークに保存

デフォルトでは、スキャナのファイル管理には、ローカル ドライブとフォルダのみが表示されます。このトピックでは、ネットワーク接続を追加する方法、スキャンしてファイルに保存するジョブのファイル フォルダとしてネットワーク上の場所を使用する方法、およびファイル管理を使用してネットワーク上の場所にアクセスする方法について説明します。

-  **注記：** 原稿をスキャンしてネットワーク上のコンピュータまたはサーバに保存するには、保存先のコンピュータまたはサーバのファイアウォールをすべて無効にし、ファイル フォルダを共有フォルダに設定する必要があります。

## ネットワーク接続の追加

システムがネットワークに接続されていることを確認します。

1. **[フォルダ]** ボタン  を押して、**[ファイル管理]** ダイアログボックスを開きます。
2. **[ネットワーク]** ボタンを押します。

3. **[ネットワーク接続の追加]** ボタンを押します。**[ネットワーク接続の追加]** ダイアログ ボックスが表示されます。



これ以降の手順で説明する設定について情報が必要な場合は、担当のネットワーク管理者にお問い合わせください。

4. **ネットワーク フォルダ**：ネットワーク上にあるリモート マシンまたはフォルダへのフル パス名を \\PCname\sharedfolder の形式で入力します。
5. **ユーザ名**：リモート サーバまたはコンピュータへのログインに使用するドメイン名およびユーザ名を DOMAIN\username の形式で、入力します。
6. **パスワード**：リモート サーバまたはコンピュータへのログインに使用するパスワードを入力します。
7. **ラベル**：リモート接続先の名前には他と識別できる名前をつけてください。この名前が、HP Designjet スキャナの **[ファイル管理]** ダイアログ ボックスに表示されます。



**注記**： ネットワーク接続は必要な数だけ追加することができます。ただし、Microsoft Windows の制限により、同じコンピュータの別のユーザが以前にマッピングしたネットワーク フォルダをマッピングすることはできません。以前にマッピングされたネットワーク フォルダをマッピングするには、まずそのネットワーク接続を削除する必要があります。ネットワーク接続を削除するには、

**[フォルダ]** ボタン  -> **[ネットワーク]** ボタン-> **[ネットワーク接続の削除]** ボタンを押します。

## スキャンしてネットワークに保存

ネットワーク接続を追加したことを確認します。詳細は、[25 ページの「ネットワーク接続の追加」](#)を参照してください。

1. 通常のスキャンしてファイルに保存するジョブと同様に **[スキャン]** タブで設定を行います。
2. **[ファイル フォルダ]** ボタンを押します。
3. 上のフォルダに移動するボタン ([...] というボタン) をボタンが表示されなくなるまで押します。上のフォルダに移動するボタンが表示されないということは、リストの最上位階層まで達したことを意味し、アクセス可能なドライブがすべて表示されます。
4. リストから、スキャンした原稿を保存するネットワークの場所を選択します。
5. 保存先となるファイル フォルダを選択します。
6. **[OK]** ボタンを押します。

## ネットワーク フォルダのファイルへのアクセス

ネットワーク接続を追加したことを確認します。詳細は、[25 ページの「ネットワーク接続の追加」](#)を参照してください。

1. **[フォルダ]** ボタン  を押して、**[ファイル管理]** ダイアログ ボックスを開きます。
2. 上のフォルダに移動するボタン ([...] というボタン) をボタンが表示されなくなるまで押します。上のフォルダに移動するボタンが表示されないということは、リストの最上位階層まで達したことを意味し、アクセス可能なドライブがすべて表示されます。
3. リストから、アクセスするネットワークの場所を選択します。
4. アクセスするファイル フォルダを選択します。
5. **[OK]** ボタンを押します。

 **注記：** スキャナ システムには、ネットワーク上の他のコンピュータからアクセスできる共有フォルダ (**D:\images**) が用意されています。セキュリティ上の理由から、スキャナ システムのその他のフォルダにはネットワーク上のコンピュータからアクセスできません。したがって、スキャンしたイメージが保存されたファイルにネットワーク上の他のコンピュータからアクセスできるようにするには、ファイルを **D:\images** に保存する必要があります。共有フォルダへのアクセスに関する詳細については、[37 ページの「マイ コンピュータから共有フォルダへのアクセス」](#)を参照してください。

## バッチ スキャンの実行

バッチ スキャンでは、設定を調整せず、原稿ごとに [スキャン] ボタンを押さずに、1度のセッションで複数の原稿を処理します。バッチ スキャンは、同じ設定で数グループの原稿をスキャンするときに便利です。

### 自動命名機能の使用

原稿をバッチ スキャンすると、スキャナは各原稿を個別のファイルとして保存し、現在の日付と時刻で構成されるデフォルトの命名規則に従って各ファイルに名前を付けます。これに対し、自動命名機能を使用すると、原稿をスキャンしてファイルに保存するときの原稿の命名方法を定義することができます。

自動命名機能を設定するには、スキャンを開始する前に [スキャン] タブの [ファイル名] ボタンを押し、ファイル名を入力して、末尾にサフィックス「<####>」を付けます。このサフィックスは、各ファイル名の末尾に数字を付加し、原稿をスキャンするたびに数字が1ずつ増加するようにします。数字の桁数は、サフィックスの「#」の数と等しくなります。たとえば、「new\_image<####>」というファイル名を入力すると、システムでは、原稿をスキャンするたびに new\_image001、new\_image002、new\_image003 という名前のファイルが順に作成されます。サフィックス「<####>」を挿入するには、[カウンタの挿入] ボタンを使用します。

 **注記：** システムは保存先フォルダを調べ、一連のファイル名に付けられている最後の番号の次の番号からナンバリングを開始するため、フォルダ内の既存ファイルが上書きされることはありません。たとえば、「new\_image<####>」というファイル名を入力し、ファイルフォルダに「new\_image001」と「new\_image002」というファイルが既にある場合、新しいファイル名は「new\_image003」から始まり、保存されます。

## 原稿のスキャン

1. 同じ設定でスキャンする原稿を準備します。
2. 最初の原稿をスキャナに挿入します。
3. 1枚の原稿をスキャンする場合と同様に [スキャン] タブで設定を指定します。詳細は、23 ページの「[原稿をスキャンしてファイルに保存](#)」を参照してください。

 **注記：** 寸法の異なる原稿がある場合は、[自動] サイズ検出設定を使用して、[幅を自動的に検出] と [長さを自動的に検出] を選択します。

4. **[スキャン]** タブを押します。



5. **[設定]** ボタンを押し、**[バッチ スキャン]** を選択して、**[OK]** ボタンを押します。

- 6.



**[スキャンしてファイルに保存]** ボタン を押し、原稿の挿入を開始します。各原稿がスキャンされファイルに保存されます。



**ヒント：** バッチ スキャン モードを中断するには、**[停止]** ボタン  を押します。このボタンを押すと、一時的にバッチ スキャン モードが停止し、別の設定で1つの原稿をスキャンできます。1つの原稿をスキャンした後に、バッチ スキャン モードが再開されます。

**ヒント：** 各原稿のスキャンが完了したら排紙して、次の原稿を挿入できるように、スキャナを設定できます。このオプションを選択するには、**[セットアップ]** タブに移動し、**[オプション]** -> **[スキャン設定]** -> **[排紙]** を選択します。

スキャナのバッチ スキャン モードは、**[スキャン]** タブの **[設定]** ボタンを使用して **[バッチ スキャン オプション]** の選択を解除するまで維持されます。

## ファイルの印刷

印刷するファイルは、**[印刷]** タブで管理します。各ファイルの必要部数、およびコピーしたいリスト内の全ファイルのセット数を定義できます。

1. 使用する用紙の種類メディア プロファイルがまだない場合は、メディア プロファイルを作成する必要があります。詳細は、7 ページの「新しいメディア プロファイルの作成」を参照してください。

## 2. [印刷] タブを押します。



[印刷] ダイアログボックスに移動すると、[コピー] ボタン  が

[印刷] ボタン  に変わります。

[印刷リスト] には、現在選択されている印刷対象ファイルが表示されます。[リストに追加] ボタンを押して、[印刷リスト] にファイルを追加します。

- 必要に応じて、[セットアップ] タブで設定を指定します。マージン、レイアウト、プリンタ、メディア プロファイルなどの [セットアップ] タブの設定は、印刷ジョブ全体に適用されます。

-  [印刷] ボタン を押して、ファイルをプリンタに送信します。

 **注記：** [印刷] タブは、[スキャン] タブで作成されたファイルを印刷するためのものです。このタブを使用して、その他のソースからのファイルを印刷することはできません。

## 色の調整

**[原稿のタイプの設定]** ダイアログボックスにアクセスして、スキャンしたイメージの色を調整するには、以下の手順に従います。

- [コピー] タブまたは [スキャン] タブの [原稿のタイプ] ボタンを押します。

2.

[ツール] ボタン  を押します。[原稿のタイプの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。



3. 選択可能な設定を使用して、スキャンしたイメージの色を調整します。

## ファイルの表示、移動、名前変更、削除

1.

タッチ スクリーンの下部にあるツールバーの [フォルダ] ボタン  を押します。

2. リストからファイルを選択します。

3. 必要に応じて、ファイルを表示、移動、名前変更、削除します。

## 厚手コート紙または厚紙のスキャン

スキャナでは、厚手コート紙および厚紙をスキャンすることができます。

**△ 警告!** その他の厚手用紙はサポートされておらず、こうした用紙をスキャンすると故障することがあります。スキャン前に、ホチキスの針や表面の粗い付着物は取り除いてください。

1. スキャナのコントロールパネルで、[厚さ自動調整] ボタンを押します。



2. 挿入スロットが原稿を挿入できる高さになるまで、上矢印ボタンを押したままにします。挿入スロットの高さは、2~15mm (0.08~0.59インチ) の範囲内で変更できます。

3. 原稿を挿入します。

- 挿入スロットが調整を停止するまで、下矢印ボタンを押したままにします。
- イメージをプレビューして、線が均等になっているかどうかを確認します。詳細に確認するにはズーム機能を使用します。

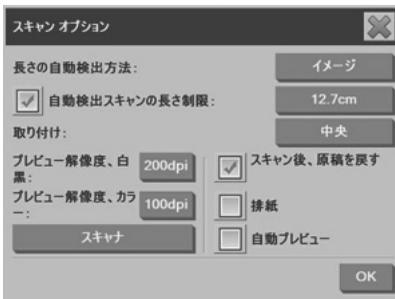
 **注記：** 原稿が大きい場合には、スキャナへの挿入時およびスキャナからの排出時に両手で支える必要があります。

線が均等になっていない場合は、以下の手順に従ってください。

- [セットアップ]** タブを押します。



- [オプション]** ボタンを選択して、**[スキャン設定]** ボタンを選択します。**[スキャンオプション]** ダイアログボックスが表示されます。



3. **[スキャン オプション]** ダイアログ ボックスで、**[スキャナ]** ボタンを押します。**[スキャナ]** ダイアログ ボックスが表示されます。



4. **[スキャナ]** ダイアログ ボックスで、**[セットアップ]** ボタンを押します。
5. **[標準以上の厚さ]** タブを選択して、**[厚い原稿の処理設定を使用する]** チェック ボックスをオンにします。



6. スキャナの各カメラの値を変更します。通常、正の値のみを使用します。
7. テスト スキャンを印刷し、良好な結果が得られるまでカメラの値を調節します。
8. **[OK]** を押して設定を保存します。

挿入スロットの高さを通常的位置に戻すには、以下の手順に従います。

1. 挿入スロットからすべての用紙を取り除きます。
2. **[厚さ自動調整]** ボタンを押します。
3. 挿入スロットが調整を停止するまで、下矢印ボタンを押したままにします。

挿入スロットを長時間、最低の高さより高く設定したままにしないようにしてください。スキャナが自動調節機能を実行するには、挿入スロットの高さが最低になっている必要があります。

## コピーのプレビュー

プレビュー機能を使用して、原稿のサイズ、マージン、用紙フレームのさまざまな調整を行うことができます。原稿のサイズは、**[コピー]** タブで指定したサイズによって決まります。プレビュー ウィンドウでの用紙フレームのサイズと厚さは、**[入力サイズ]**、**[出力サイズ]**、および **[マージン]** の設定によって決まります。

**[プレビュー]** ボタン  を押して、原稿をプレビューします。

### 全て拡大



プレビューイメージのサイズを変更して、プレビュー ウィンドウにぴったり収まるようにするには、この機能を使用します。

### 拡大



プレビューイメージを拡大するには、この機能を使用します。拡大軸はプレビュー ウィンドウの中央にあります。必要なレベルになるまで **[拡大]** ボタンを押し続けます。

### 縮小



プレビューイメージを縮小するには、この機能を使用します。縮小軸はプレビュー ウィンドウの中央にあります。必要なレベルになるまで **[縮小]** ボタンを押し続けます。

### 等倍表示

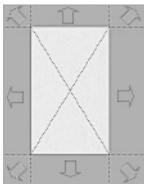


原稿をスキャンしたときのサイズでプレビュー イメージを表示するには、この機能を使用します。

### 用紙フレームのサイズ変更



この機能は、特に、標準以外のサイズの内紙をコピーする場合に便利です。この機能を使用すると、用紙フレームの周囲の領域がセクションに分割されます。特定のセクションを押すと、最も近いフレームの辺または角が新しい位置に移動します。



## 移動ツール



プレビュー ウィンドウ内でイメージを移動するには、この機能を使用します。イメージを移動する場合、次の2つの方法があります。

- プレビュー ウィンドウ内でイメージを別の場所にドラッグします。
- イメージの任意の場所を押します。押した場所がプレビュー ウィンドウの角になります。

## 用紙フレームの配置



この機能を使用すると、用紙フレームをプレビュー ウィンドウに直接配置してコピー領域を設定できます。

フレームを移動するには、次の3つの方法があります。

- プレビュー ウィンドウでフレームを別の場所にドラッグします。
- プレビュー ウィンドウで任意の場所を押します。押した場所が用紙フレームの中央になります。

この機能は、印刷用のスポット テスト ストリップを作成する場合に便利です。これにより、テストする領域にすばやくフレームを配置することができます。

- 角をドラッグして用紙フレームのサイズを変更します。

## 左揃えと右揃え

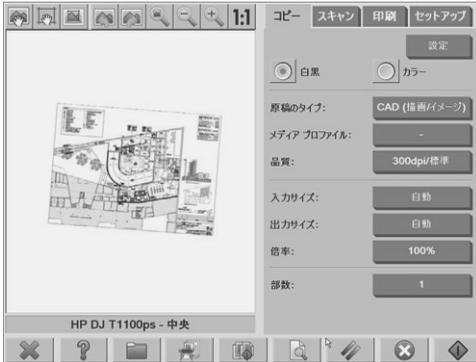
[左揃え] ボタン:



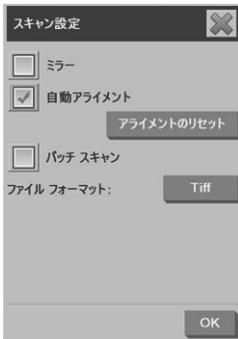
[右揃え] ボタン :



プレビュー ウィンドウに原稿が斜めに表示されても、原稿を取り付け直す必要はありません。イメージが斜めに表示されている場合、[左揃え] ボタンおよび [右揃え] ボタンを使用して、イメージの位置を用紙フレームに合わせます。



他にも、[コピー] タブまたは [スキャン] タブの [設定] ボタンを押して、[自動アライメント] オプションを選択し、[OK] を押すと、イメージの位置合わせが自動的に実行されます。良好な結果が得られない場合は、[アライメントのリセット] ボタンを押して [OK] を押し、[左揃え] ボタンと [右揃え] ボタンを使用しながら手動でイメージを揃えます。



## CDまたはDVDへのファイルの保存

HP Designjetスキャナは、他の記憶媒体に書き込む場合と同様に、CDまたはDVDへ簡単に書き込むことができます。

1. 空のCDまたはDVDを画面のCD/DVDドライブに挿入します。ディスクが「クローズ」されていない場合は、一部使用されたCDまたはDVDに書き込むこともできます。
2. **[フォルダ]** ボタンを押して、**[ファイル管理]** ダイアログ ボックスを開きます。
3. CDまたはDVDに保存するファイルに移動して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。

 **注記：** 複数のファイルを選択して、すべてを同じディスクにコピーすることもできます。

4. **[スキャン]** ボタンを押して、**[ファイル フォルダ]** ダイアログ ボックスを開きます。
5. 保存先となる CD/DVD ドライブに移動します。
6. **[OK]** を押して、保存先ディスクにファイルを保存します。

 **注記：** ファイルがディスクに保存されると、ディスクがタッチ スクリーンから自動的に排出されます。ディスクが自動的に排出されない場合は、ドライブの取り出しボタンを押します。ディスクは、取り出しボタンを押してから約45秒後に排出されます。

## マイ コンピュータから共有フォルダへのアクセス

スキャナ システムには、ネットワークを経由して他のコンピュータからアクセスできる共有フォルダ **D:\images** が用意されています。セキュリティ上の理由から、スキャナ システムのその他のフォルダにはネットワーク経由でアクセスすることはできません。したがって、スキャンされたイメージに他のコンピュータからアクセスするには、イメージを **D:\images** に保存する必要があります。

ネットワーク経由で接続を確立するには、スキャナ システムのIPアドレスを知っておく必要があります。IPアドレスを取得するには、以下の手順に従います。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[一般設定]** ボタンを押します。
4. **[バージョン情報]** ボタンを押します。  
**[バージョン情報]** ボックスに、スキャナのIPアドレスが表示されます。

## Windows XPから共有フォルダにアクセスする

1. コンピュータのデスクトップで、**[マイ ネットワーク]** をダブルクリックします。
2. **[マイ ネットワーク]** ウィンドウで、**[ネットワーク プレースを追加する]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プレースの追加ウィザード]** ウィンドウで、**[別のネットワークの場所を選択]** をクリックして、**[次へ]** をクリックします。
4. **[インターネットまたはネットワークのアドレス]** フィールドに「http://scanner\_ip/images」（「scanner\_ip」はスキャナ システムのIPアドレス）と入力して、**[次へ]** をクリックします。
5. このコンピュータで使用するフォルダ名を入力して、**[次へ]** をクリックします。

以後、共有フォルダにアクセスするには、**[マイ ネットワーク]** をダブルクリックします。**[マイ ネットワーク]** ウィンドウに新しいフォルダが表示されます。フォルダをデスクトップにドラッグすると、簡単にアクセスできるようになります。

## Windows 2000から共有フォルダにアクセスする

1. コンピュータのデスクトップで、**[マイ ネットワーク]** をダブルクリックします。
2. **[マイ ネットワーク]** ウィンドウで、**[ネットワーク プレースの追加]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プレースの追加 ウィザード]** ウィンドウで「`http://scanner_ip/images`」(「`scanner_ip`」はスキャナ システムのIPアドレス)と入力して、**[次へ]** をクリックします。
4. このコンピュータで使用するフォルダ名を入力して、**[次へ]** をクリックします。

以後、共有フォルダにアクセスするには、**[マイ ネットワーク]** をダブルクリックします。**[マイ ネットワーク]** ウィンドウに新しいフォルダが表示されます。フォルダをデスクトップにドラッグすると、簡単にアクセスできます。

## Windows 98から共有フォルダにアクセスする

1. コンピュータのデスクトップで、**[マイ コンピュータ]** をダブルクリックします。
2. **[マイ コンピュータ]** ウィンドウで、**[Web フォルダ]** をダブルクリックします。
3. **[Web フォルダ]** ウィンドウで、**[Web フォルダの追加]** をダブルクリックします。
4. **[Web フォルダの追加]** ウィンドウで「`http://scanner_ip/images`」(「`scanner_ip`」はスキャナ システムのIPアドレス)と入力して、**[次へ]** をクリックします。
5. このコンピュータで使用するフォルダ名を入力して、**[次へ]** をクリックします。

以後、共有フォルダにアクセスするには、**[マイ コンピュータ]** をダブルクリックして、**[Webフォルダ]** を選択します。**[Webフォルダ]** ウィンドウに新しいフォルダが表示されます。フォルダをデスクトップにドラッグすると、簡単にアクセスできます。

## Mac OS Xから共有フォルダにアクセスする

1. **[移動]** メニューから **[サーバへ接続]** オプションを選択します。
2. **[サーバへ接続]** ウィンドウで「`http://scanner_ip/images`」(「`scanner_ip`」はスキャナ システムのIPアドレス)と入力して、**[接続]** をクリックします。

## パスワードのセットアップ

管理者パスワードは、表示言語、ネットワークパラメータ、アカウントिंगの設定などの主要な管理設定を保護するために使用されます。デフォルトの管理者パスワードは「hpinvent」（すべて小文字）です。

デフォルトの管理者パスワードを変更していない場合、またはデフォルトにリセットした場合は、主要な管理設定にパスワード保護が適用されず、すべてのユーザが編集可能な状態になっています。デフォルトの管理者パスワードを変更した場合は、主要な管理設定が保護され、編集しようとするユーザはパスワードを求められます。

多数のユーザがシステムを共有する場合は、システムの初回セットアップ時にシステム管理者がパスワードを変更することをお勧めします。パスワードを変更するには、以下の手順に従います。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。  
**[オプション]** ダイアログボックスが表示されます。



3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[詳細設定]** ボタンを押します。

5. **[パスワードの設定/変更]** ボタンを押します。
6. 新しい管理者パスワードを入力します。新しいパスワードの確認を求めるメッセージが表示されます。
7. 完了したら、**[OK]** ボタンをクリックします。

新しいパスワードはすぐに有効になります。

パスワード保護を無効にするには、パスワード変更手順に従い、パスワードをデフォルトの「hpinvent」にリセットします。

## 共有ディレクトリへのパスワードによるアクセスの有効化

**[FTP]**および**[WebDAV]**オプションでログインとパスワードを指定することで、システムの共有フォルダをネットワーク アクセスから保護できます。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[詳細設定]** ボタンを押します。

5. **[ネットワーク設定]** ボタンを押します。**[ネットワーク設定]** ダイアログボックスが表示されます。



6. **[ログイン]** ボタンおよび **[パスワード]** ボタンを押し、文字列を入力して適用します。

 **注記：** 入力したログイン名に文字列「@scanner」が必ず付加されます。

7. システムを再起動して、新しいログイン/パスワード保護を適用します。

 **ヒント：** FTP/WebDAVアクセスのログイン/パスワード保護を解除するには、**[リセット]** ボタンを押します。

## ネットワークへのスキヤナの接続

システムがネットワーク上の他のユーザから認識できるようにするには、以下の手順に従います。

 **注記：** 管理者パスワードを設定している場合、ネットワークの設定を行う前にパスワードを入力するように求められます。

1. タッチスクリーンの裏側にあるイーサネットポートにRJ45ネットワークケーブルを接続します。

2. ネットワーク設定を確認します。
  - a. **[セットアップ]** タブを押します。



- b. **[オプション]** ボタンを押します。
- c. **[システム]** ボタンを押します。
- d. **[詳細設定]** ボタンを押します。
- e. 要求された場合は管理者パスワードを入力します。
- f. **[ネットワーク設定]** ボタンを押します。**[ネットワーク設定]** ダイアログボックスが表示されます。



- g. ネットワークにDHCPサーバがある場合は、**[DHCP]** オプションを選択します。これにより、システムは、自動的にネットワーク接続情報を検出します。

- h. 手動で接続する場合は、**[手動]** オプションを選択します。システム管理者から有効なIPアドレス、サブネット マスク、およびデフォルトゲートウェイを入手します。
- i. **[OK]** ボタンを押します。

- 3. ネットワークで共有するファイルは、**D:\images** フォルダに置きます。このフォルダにファイルを保存すると、オペレーティング システムに関係なく、任意のコンピュータからそのファイルにネットワーク経由でアクセスできます。

プリンタを同じネットワークに接続できます。詳細はプリンタのマニュアルを参照してください。

## アカウント管理

アカウントिंग機能を利用して、コピー操作の状況を把握することができます。合計スキャン回数、印刷回数、コピー回数、用紙使用量などのアカウント情報は、単純な形式で保存されるため、スプレッドシートやデータベースに取り込むことができます。アカウントのスキャン操作情報は、アカウントのダイアログで確認できます。

 **注記：** アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。

**注記：** 管理者パスワードを設定している場合、アカウントの名前変更、リセット、作成、削除を行う前にパスワードを入力するように求められます。

次の2種類のアカウントがあります。

- **アクティブ アカウント：** 実行している操作が現在登録されている、ユーザが設定したアカウント。アクティブ アカウントの名前は、**[セットアップ]** タブの **[アカウント]** ボタンに表示されます。
- **合計アカウント：** システム操作がすべて登録される、内蔵の合計アカウント。合計アカウントは常にアクティブであり、削除したりリセットすることはできません。アクティブ アカウントに登録される操作は、同時に合計アカウントにも記録されます。

## アカウントの作成

1. **[セットアップ]** タブを押します。



- 2.

**[アカウント]** ボタンを押し、**[ツール]** ボタン  を押します。

3. **[アカウントिंग]** ダイアログボックスで **[新規]** ボタンを押します。



4. 要求された場合は管理者パスワードを入力します。

5. 新しいアカウントの名前を入力します。

6. **[OK]** ボタンを押します。

新しいアカウントが自動的にアクティブアカウントになります。

アカウント情報にアクセスするには、**インターネットまたはネットワークのアドレス** フィールドに「[http://scanner\\_ip/accounting](http://scanner_ip/accounting)」(「scanner\_ip」はスキャナシステムのIPアドレス)と入力して、**[次へ]** ボタンを押します。

 **注記：** アカウントが作成されると、ユーザは、アカウントリストからアカウントを選択するように求められます。アカウントリストは、**[コピー]** ボタン



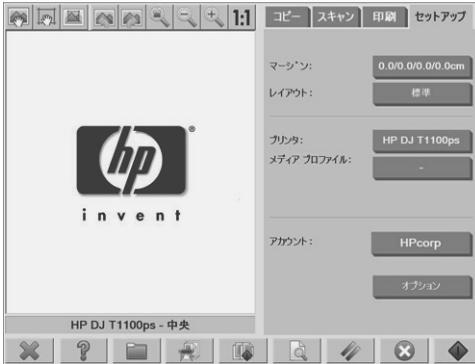
または **[スキャンしてファイルに保存]** ボタン



を押すと毎回表示されます。

## アカウントの削除

1. **[セットアップ]** タブを押します。



- 2.

**[アカウント]** ボタンを押し、**[ツール]** ボタン  を押します。

3. **[アカウント]** ダイアログ ボックスで **[削除]** ボタンを押します。



4. 要求された場合は管理者パスワードを入力します。
5. **[OK]** ボタンを押します。

## アカウントのリセット

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[アカウント]** ボタンを押し、**[ツール]** ボタン  を押します。
3. リセットするアカウントを選択します。



4. **[リセット]** ボタンを押します。
5. 要求された場合は管理者パスワードを入力します。

## アカウントの名前変更

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[アカウント]** ボタンを押します。
3. **[クイック選択]** リストが表示されていることを確認します。
4. **[ツール]** ボタン  を押します。
5. **[アカウントティング]** ダイアログ ボックスで **[名前の変更]** ボタンを押します。



6. 要求された場合は管理者パスワードを入力します。
7. アカウントの新しい名前を入力します。
8. **[OK]** ボタンを押します。

## 時刻、日付、タイムゾーンの設定

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[時刻と日付の設定]** ボタンを押します。
  - 変更する値を選択して、正しい値を入力します。
  - リストからタイムゾーンを選択します。

 **注記：** 夏時間を自動で調整するように選択できます。
5. **[OK]** ボタンを押します。

## スリープおよびウェイクアップタイマーの設定

スリープおよびウェイクアップタイマーを設定すると、スキャナを使用していないときに自動的にシャットダウンするので、ランプの寿命を最大限にする最善の方法と言えます。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[WIDEsystem]** ボタンを押して、**[タイマー]** タブを選択します。
  - 自動電源オンを有効にするには、**[オン]** 列の日付のチェック ボックスをオンにします。  
時刻を変更するには、時間の値を選択して上/下矢印を押し、分の値を選択して上/下矢印を押します。**[AM]** または **[PM]** を選択して、上/下矢印ボタンを押します。
  - 自動電源オフを有効にするには、**[オフ]** 列の日付のチェック ボックスをオンにして、上記のように時刻を設定します。
5. **[適用]** ボタンを押し、変更を確認して処理を続けるか、**[OK]** ボタンを押し、変更を確認して **[WIDEsystem]** を終了します。

## 3 保守

- ガラス プレートとスキャン領域のクリーニング
- スキャナのキャリブレーション
- 画面のキャリブレーション
- 消耗した部品の交換

### ガラス プレートとスキャン領域のクリーニング

1. スキャナの電源をオフにして、スキャナの電源ケーブルを取り外します。
2. 挿入スロットの近辺にある、スキャン領域カバー両端の2つのレバー ボタンを押して下げます。スキャン領域カバーのロックがこれで解除されます。
3. レバー ボタンを2つとも押したまま、空いている指を挿入スロットに入れてスキャン領域カバーを開きます。スキャン領域が開放され、クリーニングができます。
4. 刺激が少なく筋のつかないガラス用洗剤を浸した柔らかい布で、ガラス プレートと、メイン カバーやローラーを含め、スキャン領域全体を丁寧に拭きます。

△ **注意：** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの薬品を含んでいる液状クリーナーは使用しないでください。ガラス プレートやスキャナに液状クリーナーを直接吹き付けしないでください。

ガラス プレートの寿命は、スキャンする用紙の種類によって異なります。マイラーのような研磨紙は劣化が早まる原因になります。

5. メンテナンス キットに同梱されているような、乾いたきれいな柔らかい布を使用して、ガラス全体を乾拭きします。

### スキャナのキャリブレーション

最適なスキャン品質を維持するために、月に1回スキャナのキャリブレーションを実行することをお勧めします。

📖 **注記：** スキャナのキャリブレーションを実行する前に、ガラスとスキャン領域をクリーニングしておくことが重要です。

1. キャリブレーションを実行する前に、スキャン領域のクリーニング方法についてスキャナのオンライン ガイドをお読みください。次にスキャナをオフにして、スキャン領域をクリーニングします。スキャン領域が汚れていると、キャリブレーションは正しく機能しません。
2. スキャン領域のクリーニングが終了したら、スキャナをオンにして、少なくとも1時間そのままにしてから次の手順に進みます。

3. プレビュー画面の下にあるメッセージ表示箇所を押します。

 **注記：** 保留されている処理がない場合、メッセージ表示箇所には何も表示されていません。



4. **[スキャナ メッセージ]** ダイアログ ボックスで、**[スキャナの保守]** ボタンを押します。



5. **[保守ウィザード]** では、カメラのアラインメント、スティッチング、およびキャリブレーションの手順が順に示されます。スキャナのキャリブレーションを実行するには、スキャナに同梱されている保守シートが必要です。

## 画面のキャリブレーション

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[画面のキャリブレーション]** ボタンを押して画面の指示に従います。



画面の異なる場所に表示されたターゲットを押して、キャリブレーションを実行します。ターゲットが表示されなくなるまで、ターゲットを押します。

## 消耗した部品の交換

時間の経過とともに、スキャナの主要な部品の状態が劣化します。このセクションでは、通常の使用条件で消耗し、HPテクニカル サポート担当者以外でも交換できる部品について説明します。

ここで挙げる部品をご注文される場合は、HPサポートまでご連絡ください。

## ランプユニット

時間の経過とともに、ランプの輝度は弱まります。一定以上輝度が弱まると、ランプユニットを交換するように勧めるメッセージがタッチスクリーンに表示さ

れます。メッセージが表示されたら、ランプユニットを交換する必要があります。交換しないと、イメージの品質が低下します。

ランプユニットを交換する手順については、 を押し、スキャナのオンラインヘルプを参照してください。

 **注記：** ランプユニットを交換する前に、ガラスプレートとスキャン領域全体を十分にクリーニングした後、メッセージが表示されなくなるかどうかを確認します。ガラスプレートとスキャン領域のクリーニングについては、51ページの「ガラスプレートとスキャン領域のクリーニング」を参照してください。

**注記：** ランプユニットとエアフィルタは同じパッケージに含まれており、同時に交換する必要があります。

## エアフィルタ

エアフィルタは、ほこりや空中の粒子からスキャナを保護します。フィルタは、時間の経過とともに効力が低下します。エアフィルタを適切な時期に交換すると、クリーニングやキャリブレーションの必要性が減り、イメージの品質の維持に役立ちます。

 **注記：** ランプユニットとエアフィルタは同じパッケージに含まれており、同時に交換する必要があります。

エアフィルタを交換する手順については、 を押し、スキャナのオンラインヘルプを参照してください。

## 白いプラテン

長期間の使用により、白いプラテンに磨耗、変色、変形などの損傷が発生する場合があります。

白いプラテンを交換する手順については、 を押し、スキャナのオンラインヘルプを参照してください。

 **注記：** 白いプラテンは、交換する前に十分にクリーニングしてください。

## ガラスプレート

時間の経過とともに、ガラスプレートの状態は劣化します。どんなに小さな傷でも、イメージの品質低下の原因になります。

ガラスプレートを交換する手順については、 を押し、スキャナのオンラインヘルプを参照してください。

 **注記：** ガラス プレートを交換する前に、ガラス プレートとスキャン領域を十分にクリーニングしてください。ガラス プレートとスキャン領域のクリーニングについては、51 ページの「ガラス プレートとスキャン領域のクリーニング」を参照してください。



## 4 トラブルの解決

後述する以外の問題がスキャナで発生した場合は、スキャナのオンラインガイドのヒントを参照してください。

- 診断ランプが点滅している
- 待機ランプが点滅している
- 待機ランプと診断ランプの両方が点滅している
- 電源ランプ、待機ランプ、診断ランプ、用紙セット完了ランプが点滅している
- スキャンしたイメージの線が細すぎるか不連続になる
- パネルPCのタッチスクリーンに警告メッセージが表示される
- スキャナソフトウェアの言語が間違っている
- スキャナソフトウェアが起動しない
- CDまたはDVDがコンピュータで読み取れない
- メディアプロファイルを生成できない
- スキャンされたイメージに筋が入る
- 電源を入れ直した後にスキャナが検出されない

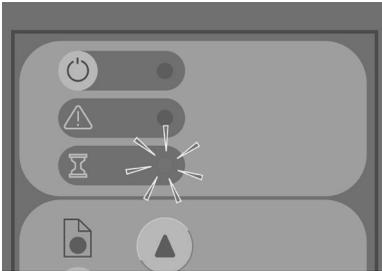
### 診断ランプが点滅している



診断ランプが点滅している理由として最も多いのは、スキャン領域のクリーニングが必要な場合です。この問題を解決するには、オンラインガイドで説明されている保守手順を実行してから、スキャナを再起動します。

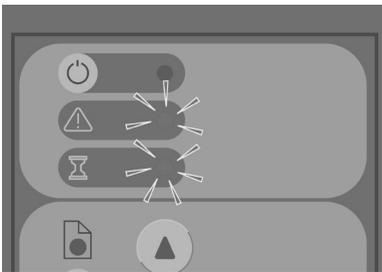
診断ランプの点滅が続く場合は、カメラの位置が正しくない可能性があります。この場合は、HPサポートにお問い合わせください。

## 待機ランプが点滅している



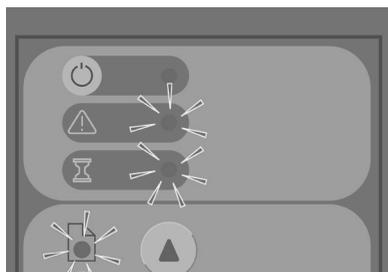
待機ランプが点滅している場合、スキャナは再調節する必要があるにもかかわらず、調節できない状態にあります。この問題を解決するには、スキャナからすべての用紙を取り除き、挿入スロットの高さが最低に設定されていることを確認して、ランプが消えるのを待ちます。

## 待機ランプと診断ランプの両方が点滅している



待機ランプと診断ランプの両方が点滅している場合は、診断ランプが点滅しているときの解決方法に従います。詳細は、[57 ページの「診断ランプが点滅している」](#)を参照してください。

## 電源ランプ、待機ランプ、診断ランプ、用紙セット完了ランプが点滅している



電源ランプ、待機ランプ、診断ランプ、用紙セット完了ランプが点滅している場合、スキャナはブートモードで起動しています。このモードは緊急の際に使用され、ファームウェアのアップデートプロセスが中断されたときにスキャナのファームウェアをアップデートします。このような組み合わせでスキャナのライトが点滅している場合は、以下の解決方法を実行します。

- スキャナとタッチスクリーンを再起動します。
- スキャナがブートモードのままである場合は、スキャナと同梱の『システムリカバリー』DVDを使用してシステム修復手順を実行します。

## スキャンしたイメージの線が細すぎるか不連続になる

CAD図面など細い線の原稿をスキャンする場合、スキャン解像度を300dpi未満に設定すると、線が不釣合いに細くなったり不連続になったりすることがあります。CAD図面およびその他の細い線の多い原稿をスキャンする場合は、スキャン解像度を300dpi以上に設定することをお勧めします。高い解像度でスキャンするとスキャン時間が全体的に長くなりますが、イメージの品質が向上します。写真や塗りつぶし領域をスキャンする場合、この問題はあまり目立ちません。スキャン解像度の設定に関する詳細情報は、[15 ページの「スキャン品質の設定」](#)を参照してください。

以下は、この問題を図解したものです。

図 4-1 150dpiでスキャンしたCAD図面

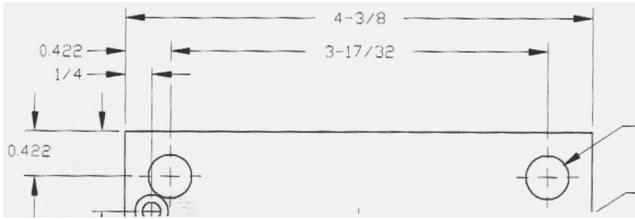
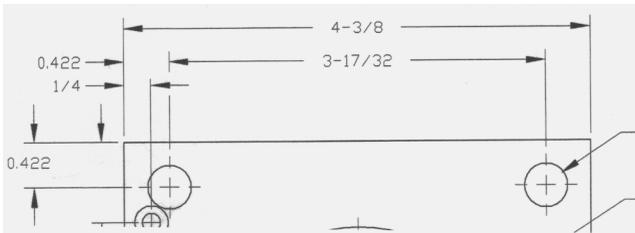


図 4-2 300dpiでスキャンしたCAD図面



## パネルPCのタッチ スクリーンに警告メッセージが表示される

以下の状況では、ユーザーに保守作業を実行するように勧める警告メッセージがパネルPCのタッチ スクリーンに表示される場合があります。

- スキャナの保守作業が30日間実行されていない。
- ランプの輝度が低下している。

 **注記：** ランプを交換する場合は、フィルタも交換する必要があります。

- ガラス プレートの状態が許容レベルを超えて劣化している。
- 原稿バックグラウンドの状態が許容レベルを超えて劣化している。

パネルPCのタッチ スクリーンにいずれかの警告が表示された場合は、推奨される保守作業についてスキャナのオンライン ガイドを参照してください。

## スキャナ ソフトウェアの言語が間違っている

表示言語を変更するには、以下の手順に従います。

1. **[セットアップ]** タブを押します。



2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[詳細設定]** ボタンを押します。
5. **[言語の変更]** ボタンを押します。
6. 使用する言語を選択します。

## スキャナ ソフトウェアが起動しない

タッチスクリーンの電源を入れてもスキャナソフトウェアが起動しない場合は、電源を切ってから入れ直してください。

それでも起動しない場合は、スキャナシステムと同梱されている『システムリカバリー』DVDを使用して、ソフトウェアを再インストールする必要があります。

1. システムをオンにした状態で、DVDドライブに『システムリカバリー』DVDを挿入します。
2. タッチスクリーンの電源を切ってから、入れ直します。
3. 画面の指示に従います。
4. ソフトウェアが再インストールされると、DVDを取り出してタッチスクリーンを再起動するように求めるメッセージが表示されます。
5. タッチスクリーンが再起動すると、画面に表示されるターゲットに触れてポインタの位置のキャリブレーションを実行するように求められます。正

確なキャリブレーションを実行するため、最も頻繁に使用する操作位置からキャリブレーションを実行し、タッチスクリーンの操作に使用している道具を使用します。

6. ターゲットに触れると、タッチスクリーンパネルの他の場所に触れるように求めるメッセージが表示されます。キャリブレーションの結果に満足した場合は、**[はい]** ボタンを押します。システムの再起動を求めるメッセージが表示されたら、**[いいえ]** ボタンを押します。
7. 言語を選択する画面が表示されます。Designjetスキャンアプリケーションで使用する言語を選択します。選択した言語でタッチスクリーンが自動的に再起動されます。
8. オペレーティングシステムが再起動するのを待ちます。処理が完了すると、タッチスクリーンにDesignjet Scanアプリケーションの**[コピー]** タブが表示されます。

## CDまたはDVDがコンピュータで読み取れない

スキャナでは、Joliet拡張を使用したISO 9660規格準拠のCDおよびDVDを作成することができます。この規格は一般的にサポートされていますが、このスキャナで作成したCDおよびDVDがすべてのコンピュータで読み取れるという保証はいたしません。

## メディア プロファイルを生成できない

スキャナとプリンタの両方の電源が入っていて、通常の操作ができる状態になっていることを確認します。

スキャナがプリンタに接続され、スキャナとプリンタの両方がLANに接続されていることを確認します。

## スキャンされたイメージに筋が入る

画面でイメージをプレビューしたときにこの問題が見られる場合は、ガラスの汚れやキズが原因の可能性があります。まず、原稿に汚れやしわがないこと、ガラスの上に筋になるような異物などがなくを確認します。原稿に汚れがなく状態が良好である場合、ガラスをクリーニングします(51 ページの「ガラスプレートとスキャン領域のクリーニング」を参照)。問題が解決しない場合は、ガラスを交換する必要があります。

## 電源を入れ直した後にスキャナが検出されない

スキャナが検出されない場合は、再スキャン機能を使用して、問題が解決するかどうかを確認します。問題が解決しない場合は、スキャナとタッチスクリーンの電源をオフにして、タッチスクリーンをスキャナから外します。タッチスクリーンをスキャナに接続し直して、スキャナとタッチスクリーンの電源を入れます。

# 索引

## C

- CD、ファイルの保存 37
- CDまたはDVDへのファイルの保存 37

## D

- DVD、ファイルの保存 37

## あ

- アカウント管理 44
- 厚手コート紙または厚紙のスキャン 31
- 厚手用紙 31

## い

- イメージに筋が入る 62
- イメージの線が細すぎる 59
- 色の調整 30

## か

- 画面のキャリブレーション 53
- ガラスのクリーニング 51
- 管理者パスワード 40

## き

- 起動しない 61
- キャリブレーション 51
- 共有フォルダへのアクセス 37

## け

- 原稿のコピー 16
- 原稿をスキャンしてネットワークに保存 25
- 原稿をスキャンしてファイルに保存 23

## こ

- このガイドの使用方法 1
- コピーのプレビュー 34

## し

- 時刻、日付、タイムゾーンの設定 49
- 出力品質の設定 11
- 消耗した部品の交換 53
- 診断ランプが点滅している 57

## す

- スキャンしたドキュメントの印刷 29

## そ

- ソフトウェアの概要 1

## た

- 待機ランプが点滅している 58
- タイマーの設定 50

## て

- 電源ランプが点灯し、待機ランプ、診断ランプ、および用紙セット完了ランプが点滅している 59
- 電源を入れ直した後にスキャナが検出されない 62

## ね

- ネットワーク接続 42

## は

- パスワードによるアクセス 41
- バッチ コピーの実行 21
- バッチ スキャンの実行 28

## ふ

- ファイルの移動 31
- ファイルの印刷 29
- ファイルの削除 31
- ファイルの名前変更 31
- ファイルの表示 31
- 複数の部数の印刷 20
- プリンタの削除 7
- プリンタの設定 6, 7
- プリンタの追加 6

## ほ

- 保守に関する警告 60

## ま

- 間違った言語 61

## め

- メディア プロファイル 7
- メディア プロファイルの作成 7

メディア プロファイルを作成できない 62

よ

読み取り不可能なCD/DVD 62

り

両方のランプが点滅している 58

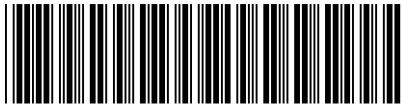




i n v e n t

© 2008 Hewlett-Packard Development Company L.P.  
Printed in Singapore

[www.hp.com](http://www.hp.com)



**CK841-90008**